

産婦人科

Obstetrics and Gynecology

ユニット責任者：産婦人科学 教授 鈴木 直

ブロック名		期間	ブロック責任者
第1ブロック	産婦人科①	5月14日～5月17日	長谷川 潤一
第2ブロック	産婦人科②	12月16日～12月19日	五十嵐 豪

1. ユニット概要・学習内容

ヒトの発生、正常妊娠、正常分娩における生理的变化およびその過程を理解する。
異常妊娠、異常分娩の病態生理、原因、症候、診断、治療について理解する。
胎児の生理的成長・発達とその異常について理解する。
生殖・内分泌領域では、性周期とその調節機構による変化を理解する。また、不妊症
および生殖医療についても理解し、生殖補助医療の利点と欠点についても理解する。

2. 到達目標

- 1) 正常妊娠の生理、胎児および胎児付着物について説明できる。
- 2) 妊娠中の超音波による胎児評価、妊婦健診、正常分娩過程、CTG等について説明できる。
- 3) 妊娠初期・中期・後期の異常について説明できる。
- 4) 妊娠高血圧症候群、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、多胎妊娠、血液型不適合妊娠について説明できる。
- 5) 合併症妊娠について説明できる。
- 6) 娩出力の異常、産道の異常、胎児および胎児付着物の異常・産褥の異常について説明できる。
- 7) 産科出血およびショック・DICについて説明できる。
- 8) 月経異常の定義および病態を説明できる。
- 9) 性分化異常について説明できる。
- 10) 不妊症・不育症について説明できる。

3. 学習上の注意点

講義は事前に配布された資料をもとに進む。講義資料には当該講義において理解すべき事柄が網羅されているので、事前に目を通して何がテーマとして扱われているのかを把握し、また資料中の不明な点を明らかにした上で講義に臨んでもらいたい。

4. 教科書・参考書

教科書は特に指定しない。適宜資料を配布し、参考書の当該箇所を提示する。

参考書

1) 「標準産婦人科」(第4版) 医学書院

(書評) 全頁2色刷でさらに見やすく、わかりやすくなった標準テキスト。産婦人科学のコアとなる普遍的知識に加えて、日進月歩する産婦人科医療を鑑み、医学生にとって必要な新知見もふんだんに取り上げられている。

2) 「NEW産婦人科学」(改定第2版) 南江堂

(書評) 生殖医学、周産期医学、婦人科学、婦人科腫瘍学という4つの大きな柱を立て、第一線で活躍中の臨床医らが解説を加えている。

「プリンシプル産婦人科学1・2」(第3版) メディカルレビュー社

(書評) 学生や研修医のための“教科書”の役割のみならず、産婦人科医療に従事するすべての医師・医療従事者に役立つ内容が盛り込まれている。

3) 「Williams OBSTETRICS, 24thed」 McGraw-Hill Medical

(書評) あらゆる産科学の教科書は本書をモデルにしており、いわば産科学のバイブル。興味のある学生は読んでいただきたい。

5. 成績評価

下記の評価項目を総合して総括評価する。

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	90 (%)	ブロック前期・後期試験期間中に実施する。
授業態度		10 (%)	出席状況を含む授業態度は随時指導に利用する。

当ユニットでは学年末再試験を実施する。

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
産婦人科	教授	鈴木 直	9時～19時 但し、事前連絡の上、 アポイントをとること	医学部本館3階 産婦人科医局	3327(内線) 3332(内線)